

野菜の需給・価格動向レポート（平成29年11月6日版）

1 主要野菜の生産出荷状況

※レポートの読み方については、注意書きを参照してください

種類	10月の価格情報					11月 10月中旬の関東及び近畿ブロックの入荷量 ( )内は、本年と過去3カ年平均値との比率	主産地	生育及び価格の11月中旬までの見通し
	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価格			(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格			
		月上旬	中旬	下旬				
キャベツ	74.19	59 (80%)	49 (66%)	59 (80%)	72.93	・13,730t (122%)	千葉(38), 愛知(25), 茨城(21)	<p>千葉産は、台風21号によるスレや海沿いのほ場で塩害が発生したものの、出荷に大きな影響はないことから、引き続き平年並みの出荷の見込み。愛知産は、肥大良好で大玉傾向となっていることから、台風22号等の降雨により収穫遅れが発生し、一時的に出荷が平年より少なめとなっているものの、今後は平年より多めに回復する見込み。茨城産は、豊作傾向であるが、台風などの曇雨天の影響で、引き続き平年並みの出荷の見込み。</p>
	88.91	62 (70%)	51 (58%)	65 (73%)	76.91	・5,196t (130%)	愛知(57), 茨城(19)	
たまねぎ	93.34	66 (71%)	66 (71%)	68 (73%)	83.77	・6,906t (76%)	北海道(96)	<p>北海道産の出荷はやや多めと見込まれることから、現在平均を下回っている価格は、引き続き平均を下回って推移する見込み。</p>
	93.34	68 (73%)	70 (75%)	71 (76%)	83.77	・2,954t (84%)	北海道(87), 兵庫(12)	
ねぎ (関東は白ねぎ、近畿は青ねぎ)	136.25	280 (205%)	291 (214%)	379 (278%)	136.25	・2,533t (88%)	青森(16), 秋田(15), 茨城(10), 千葉(9)	<p>青森産及び秋田産は、生育は概ね順調で、台風21号及び22号の影響は軽微なことから、引き続き平年並みの出荷の見込み。茨城産は、連続で発生した台風により葉折れや倒伏が散見され、またほ場の含水率が高く収穫が遅れているため、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。千葉産は、台風前の生育は順調だったものの、台風21号の強風被害による葉折れや倒伏が散見されることから、引き続き少なめの出荷の見込み。新潟産は、台風21号による強風で一部のほ場で倒伏がみられるものの、影響は軽微で、生育は概ね順調なことから、引き続き平年並みの出荷の見込み。</p>
	467.01	444 (95%)	339 (72%)	399 (85%)	467.01	・243t (162%)	奈良(20), 徳島(19), 三重(18), 香川(13)	
はくさい	56.81	53 (94%)	46 (80%)	61 (107%)	40.32	・10,656t (123%)	茨城(91)	<p>茨城産の出荷は平年並みと見込まれるものの、台風被害による入荷減の懸念から、引き続き平均を上回って推移する見込み。</p>
	69.44	51 (74%)	40 (58%)	64 (92%)	55.95	・6,421t (128%)	茨城(66), 長野(16)	
ほうれんそう	385.11	462 (120%)	399 (104%)	647 (168%)	385.11	・949t (135%)	群馬(38), 茨城(21), 栃木(12)	<p>群馬産は、ハウスは生育が概ね順調なものの、露地作は台風の影響でほ場の含水率が高く生育が進まないことから、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。茨城産は、10月中旬からの曇雨天や台風による生育不良がみられることから、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。栃木産は、10月中旬からの曇雨天や台風及びその後の低温による生育不良がみられることから、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。</p>
	461.74	606 (131%)	530 (115%)	721 (156%)	461.74	・340t (118%)	岐阜(48), 徳島(22)	
レタス (結球)	158.27	75 (48%)	70 (44%)	148 (94%)	143.63	・4,826t (133%)	茨城(65), 静岡(8)	<p>茨城産は、豊作傾向で、出荷はピークを迎えているが、相次ぐ台風の発生による強風や降雨により、一部のほ場で冠水やイタミがみられることから、現在は少なめの出荷となっているものの、天候は回復していることから、今後は平年並みに回復する見込み。</p>
	152.57	84 (55%)	78 (51%)	165 (108%)	154.61	・1,572t (152%)	兵庫(38), 茨城(32), 長崎(10), 徳島(8)	
きゅうり	289.03	218 (75%)	228 (79%)	597 (207%)	289.03	・3,609t (97%)	埼玉(30), 群馬(24), 宮崎(15)	<p>埼玉産は、10月中旬以降の降雨や相次ぐ台風発生による日照不足により、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。群馬産は、10月中旬以降の曇雨天により生育不良がみられ、現在は少なめの出荷となっているものの、天候は回復していることから、今後は平年並みに回復の見込み。宮崎産は、生育は順調で、10月中旬以降の曇雨天及び台風の影響は軽微であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。</p>
	298.96	238 (80%)	240 (80%)	661 (221%)	298.96	・968t (110%)	宮崎(45), 高知(22), 群馬(15), 大阪(9)	
トマト (大玉)	347.41	346 (100%)	360 (104%)	336 (97%)	347.41	・3,842t (105%)	熊本(37), 愛知(17), 千葉(12)	<p>熊本産、愛知産及び千葉産の出荷が平年並みに回復または平年並みと見込まれることから、現在平均並みの価格は、今後は平均を下回って推移する見込み。</p>
	371.67	369 (99%)	381 (102%)	362 (97%)	371.67	・1,375t (116%)	熊本(67)	
なす	301.00	237 (79%)	221 (74%)	353 (117%)	301.00	・1,880t (122%)	高知(62), 福岡(13)	<p>高知産は、10月中旬の曇天により、やや生育遅れがみられるものの、台風以降好天が続いていることから、現在やや少なめの出荷は、今後は平年並みに回復する見込み。福岡産は、生育は概ね順調で、台風21号の影響は軽微なことから、引き続き平年並みの出荷の見込み。</p>
	263.21	252 (96%)	217 (83%)	373 (142%)	263.21	・681t (118%)	高知(41), 熊本(23), 福岡(16), 岡山(10)	
ピーマン	263.58	274 (104%)	262 (99%)	366 (139%)	378.83	・1,030t (108%)	茨城(54), 宮崎(21)	<p>茨城産は、10月の曇天の影響で花落ちが多いことに加え、台風21号により抑制作に冠水被害がみられ、切り上がりが増える可能性があることから、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。宮崎産は、9月の台風18号以降の曇天等で、生育不良がみられることから、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。高知産は、中旬にかけて一時的に出荷が増えるものの、10月の曇天の影響で、肥大遅れが発生していることから、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。</p>
	296.27	303 (102%)	285 (96%)	359 (121%)	371.29	・443t (124%)	宮崎(32), 高知(23), 茨城(13), 鹿児島(12)	
だいこん	67.55	72 (107%)	61 (90%)	89 (132%)	67.55	・5,031t (114%)	千葉(64), 神奈川(17)	<p>千葉産は、豊作傾向であるが、一部のほ場で、台風21号による塩害等の発生がみられることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。神奈川産は、台風21号による塩害が発生し、正品率の低下が懸念されることから、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。</p>
	76.48	68 (89%)	69 (90%)	96 (126%)	76.48	・2,379t (112%)	石川(21), 長崎(18), 和歌山(13), 徳島(11), 鹿児島(10)	
にんじん	123.08	85 (69%)	78 (63%)	84 (68%)	105.86	・5,191t (106%)	千葉(54), 北海道(25)	<p>千葉産は、豊作傾向であるが、台風21号による一部のほ場の冠水により、収穫遅れが発生していることから、現在平年よりやや少なめの出荷は、今後は平年より少なめの出荷の見込み。北海道産は、出荷終盤を迎え、台風の影響も軽微で、生育も順調なことから、引き続き多めの出荷の見込み。</p>
	123.11	82 (67%)	70 (56%)	84 (68%)	104.49	・1,979t (108%)	北海道(41), 長崎(31), 千葉(8)	

注：1 平均価格は、過去6カ年（平成20～25年）の関東及び近畿ブロックの中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均（消費税は除く）で、保証基準額の算定の基となる価格。  
2 旬別平均販売価格の赤字及び青の背景は平均価格と比較して150%以上のもの、太字及び赤の背景は保証基準額（平均価格の90%）を下回るもの（消費税は除く）であるが、必ずしも事業が発動するとは限らないため、あくまで参考である。  
3 単位は円/kg。上段は関東、下段は近畿ブロック。  
4 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。（ ）内は入荷シェアで平成28年実績である。  
5 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴き取りをもとに機構が作成したもの。

1 主要野菜の生産出荷状況

※レポートの読み方については、注意書きを参照してください

種類	10月の価格情報				11月	10月中旬の関東及び近畿ブロックの入荷量 ( )内は、本年と過去3カ年平均値との比率	主産地	生育及び価格の11月中旬までの見通し
	(参考) 保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価格	上旬	中旬	下旬			
いも類	さといも	220.97	263	274	268	220.97	埼玉(61), 千葉(12)	→
		(119%)	(124%)	(121%)		・436t (79%)		
		217.56	269	291	334	217.56	愛媛(54), 福井(16)	→
		(124%)	(134%)	(154%)		・115t (86%)		
	ばれいしょ	96.99	92	89	88	96.99	北海道(98)	→
		(94%)	(92%)	(91%)		・4,027t (96%)		
		96.99	83	81	85	96.99	北海道(95)	→
		(86%)	(83%)	(88%)		・1,550t (94%)		

注：1 平均価格は、過去6カ年(平成20～25年)の関東及び近畿ブロックの中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く)で、保証基準額の算定の基となる価格。  
 2 旬別平均販売価格の赤字及び青の背景は平均価格と比較して150%以上のもの、太字及び赤の背景は保証基準額(平均価格の90%)を下回るもの(消費税は除く)であるが、必ずしも事業が発動するとは限らないため、あくまで参考である。  
 3 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック。  
 4 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。( )内は入荷シェアで平成28年実績である。  
 5 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聞き取りをもとに機構が作成したもの。

1 主要野菜の生産出荷状況(特定野菜)

種類	10月の価格情報				11月	10月中旬の東京都及び大阪市場の入荷量 ( )内は、本年と過去3カ年平均値との比率	主産地	生育及び価格の11月中旬までの見通し
	(参考) 過去5カ年平均価格	東京都・大阪市場の旬別価格	上旬	中旬	下旬			
洋菜類	ブロッコリー	408.61	421	359	485	302.07	埼玉(25), 香川(16), 愛知(16)	→
		(103%)	(88%)	(119%)		・625t (135%)		
		424.92	478	413	487	369.86	徳島(25), 鳥取(18), 北海道(15), 米国(14)	→
		(112%)	(97%)	(115%)		・178t (130%)		
根菜類	ごぼう	252.90	318	304	287	247.06	青森(68), 茨城(13)	→
		(126%)	(120%)	(113%)		・243t (90%)		
		173.20	202	217	200	179.28	青森(36), 茨城(30)	→
		(117%)	(125%)	(115%)		・165t (85%)		
果菜類	かぼちゃ	135.51	143	147	142	166.05	北海道(73)	→
		(106%)	(108%)	(105%)		・1,329t (131%)		
		125.57	125	130	121	144.25	北海道(53), NZ(19)	→
		(100%)	(104%)	(96%)		・489t (113%)		

注：1 平均価格は、過去5カ年(平成24～28年)の東京都及び大阪市中央卸売市場の価格。  
 2 旬別価格は、上段は東京都中央卸売市場、下段は大阪市中央卸売市場であり、単位は円/kgである。  
 3 旬別価格の赤字及び青の背景は、平均価格と比較して150%以上のもの、太字及び赤の背景は平均価格を80%を下回るもの(消費税は除く)であるが、必ずしも事業が発動するとは限らないため、あくまで参考である。  
 4 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。( )内は入荷シェアで平成28年実績である。

2 野菜の輸入動向 - 野菜の輸出入数量と主な生鮮野菜の輸出入について -

区分	平成27年	平成28年	平成29年9月	平成29年1～9月
	前年比	前年比	前年同月比	前年同期比
生鮮野菜	826,845	862,416	53,298	71
加工野菜	1,752,337	1,768,892	104	108
野菜合計	2,579,182	2,631,308	102	95
うち中国産野菜合計	1,355,491	1,365,785	101	87
中国産シェア	53	52	54	50

  

区分	平成27年	平成28年	平成29年9月	平成29年1～9月
	前年比	前年比	前年同月比	前年同期比
生鮮野菜	22,992	31,867	1,727	164
加工野菜	9,510	11,101	1,341	123
野菜合計	32,502	42,968	3,068	143

  

区分	平成27年	平成28年	平成29年9月	平成29年1～9月
	前年比	前年比	前年同月比	前年同期比
たまねぎ及びジャロット	871	839	840	2
ながいも	244	53	130	14
キャベツ等	152	180	95	11

  

区分	平成27年	平成28年	平成29年9月	平成29年1～9月
	前年比	前年比	前年同月比	前年同期比
たまねぎ及びジャロット	104	98	3	2
ながいも	464	224	192	46
キャベツ等	84	41	23	20

  

区分	平成27年	平成28年	平成29年9月	平成29年1～9月
	前年比	前年比	前年同月比	前年同期比
たまねぎ及びジャロット	172	164	6	2
ながいも	571	274	247	48
キャベツ等	75	35	21	19

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 安藤、松岡、植村 TEL03-3583-9448、FAX03-3583-9484 ご意見、ご要望をお寄せください。  
 ◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表時にメルマガでお知らせしますので、ご希望の方は当機構のホームページのトップ画面、メールアドレスから登録してください。  
 ★この「野菜の需給・価格動向レポート」は、http://vegetan.alic.go.jp/vegetable\_report.html に掲載しています。  
 ※無断転載せず ・ レポートに記載された情報をご利用になったことにより生じたいかなる損害に関して、当機構は一切の責任を負いません。